

【2020年度 技術賞部門賞】

安威川ダム建設事業における残土処分地整備について

大阪府安威川ダム建設事務所

事業概要

<背景>

治水を目的とした安威川ダムの建設により発生する大量の残土処分について、環境面、合理性、経済性等から有効な手法を検討、実施するとともに、地域振興に寄与した。

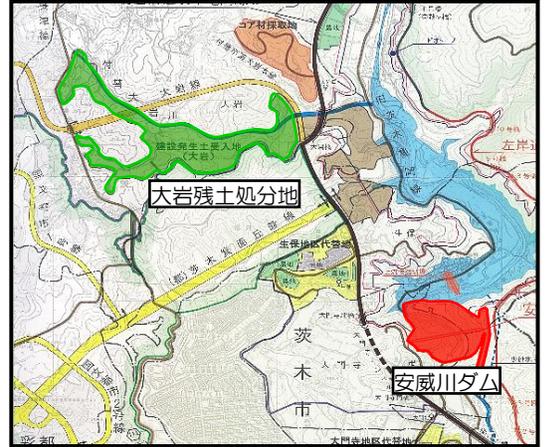
<事業内容>

ダム建設発生残土等を近隣農地に盛立処分し、農地の復旧整備を行ったうえで地権者に返却するもの。

<課題となっていた点>

平成17年、ダム計画の変更により発生残土量が減少することとなったが、地元要望を受けて、周辺で実施中の公共事業と調整し、当初計画を変更することなく農地整備を実施した。

農地としての機能復旧だけでなく、農業の担い手不足を解消するため、利用価値の向上や農作業及び維持管理労力の軽減など、多面的な効果を発揮させるべく事業を実施した。



技術の概要

農地の大区画化



新たな用水源の確保

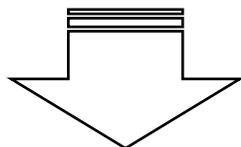


耕作道、用排水路の整備



成果

- 農地の大区画化及び用排水路の分離による農業生産性の向上
- 新たな用水源確保及び農振農用地指定による安定した生産環境の整備
- 耕作道及び用排水路の整備による維持管理労力の低減



農業を核とした
地域振興への寄与

